

ポアンカレ (Jules Henri Poincaré) 小伝

長岡半太郎

ポアンカレ名はアンリー又ジュールと称す。一八五四年仏国ナンシーの旧家に生る。年十九巴里工芸学校に入り後鉱山学校に学ぶ。一たび物理学の深遠にして其材能を活用するに餘地有るを信するや、志を齎して数学を学ぶ。一八七九年学士と為りケーン大学講師に任ぜらる。爾後整数論微分方程式を研究し、闡發せんぱつ(はつきりと表にだす)するところ少からず。止ること二年、巴里大学に招かれ助教と為ること三年、一八八五年力学講座を担当し、未だ幾くならずして数理物理学教授に転じ、職を守る事十二年、一八九七年此の講座をブーシネスクに譲り、己は特に天体力学講座を担当し、専ら力を其攻究に盡さんと欲するもの如し。

数、星、物理の三学はポアンカレが好んで其議論を馳騁ちてい(ほしいままにふるまう)するところにして、其算勘の神、閎深こうしん(広く深い)、豁達かつたつ、其変化の妙端倪たんげいすべからざるもの有り。蓋し天体の運行を測定し、其形態を観察するはポアンカレが好むところに非ず。亦諸現象を実験的に精査するはポアンカレが能くするところに非ずと雖も、理論上天体の運行形態を評論し、物理現象の説明を試みる如き、苟も数理的勘査考索を要する事項は即ちポアンカレが好んで其淵源を辨じ、曲折を盡して漏遺なからしむるところなり。

ポアンカレが人に卓越する所以は、其特に数学の蘊奥うんおうを極め、通用縦恣自在、庖丁牛を剖くの手腕有るを

以てなり。最初微分方程式に関するフクス函数の研究は其刀刃を磨きたるものにして、新に硯(石砥)を出たる刀は之を回轉液体の静止形問題を解くに利用し、ダーウイン(ジョージ・ハワード・ダーウイン。イギリスの天文学者・数学者。『進化論』で有名なチャールズ・ダーウインの二男。)、マラーセン輩をして顔色無からしむ。回轉楕円体の静止形なるは地球の形状より推すも明瞭なるところにして、ヤコビは之に三軸楕円体を加えたり。然れどもポアンカレは勘査の結果として、楕円体有り、橐形有り、唾鈴形有り、或は分れて雙体となり、其変化の無数なるを示せり。此理を敷衍し、直星霧(星雲)の変遷を攻究し難しと雖も、其実際と相距る事遠からざるは雙星の存在に確証を挙ぐるものにして、ポアンカレの議論は天体の発生を詳にするの端緒を緝きたりと言うも可ならん。

伝え言う、デイリクレは晩年太陽系保続に関する考索に従事し、其の理を明確にするを得たりと雖も、不幸にして未だ其議論を筆にするに及ばずして世を去れりと。瑞典王は其理の隠滅して伝わらざるを惜み、懸賞問題とし、汎く世界の数学者に徴して此大問題の解答を求めたり。ポアンカレは其富饒なる思想を誘導するに、其慣用せる潤達なる勘索を以てし、三体論に関する最も豊熟せる結果を得て懸賞は其手に落ちたり。即ち相互の位置に關繋する措用の下に在る一団の質点(太陽系の如きもの)の運動の有様を定むるに、其形勢並びに速度を以てするとき、嚴密に均同ならずと雖も、極めて近似せる有様に其幾回となく回還するを証せり。其他天体の運行を論ずるに緊要なる定理並びに其の解釈に應用すべき方法を啓発すること少からず、ポアンカレの名は遂に世界に喧伝せり。

末流星学者はポアンカレが考索の結果、只理論に趨り、実用を缺くを以て之を謗傷(誹謗)するもの有り。然れ

ども星学上の実用に関する勘定は概ね驚蹇（足の遅い馬）に鞭箠（むち）を加えて成就し得べきを以て、自ら軒輊（優劣）を其間に置かざるべからざれば、群少傾軌の誹嘲（誹謗嘲笑）は所謂蚍蜉大樹を撼（ゆるが）す（見識の狭い者が、身の程を知らずにみだらに優れている人を批評するたとえ）ものにして、其ポアンカレの真価を左右する能わざるは論なきのみ。

ポアンカレを目して単に数理星学者となすは誣妄なり。数学に於ける整数論、函数論、微分方程式等に精しく、数理物理学に於ける、殆んど通ぜざるところなく、其の講義は門弟の校訂を経て公にせるもの既に十数種、皆明晰にして簡勁（表現が簡潔で力がこもっている）、往々前人未発の理を其の間に参（まじ）ゆるものあり。其著すところの論文は数星物の三学に跨り、年々数百頁を置（かさ）ね、一論文にして、二三百頁を填（うす）むるもの亦少からず。又以て其脳裡に湧溢する思想の滾々（物事の盡きないさま）止る所無きを知るに足れり。今やポアンカレは其材力を星学理論に集注せんと欲す。驚世の論、学者社会を聳動するもの出るは期して待つべし。嗚呼（あゝ、あも）若し嘗て仏国理学の盛名を裝飾せるラグランジュ、ラプラス、コーシーをして十九世紀末の仏国に其敏腕を揮（ふる）うのポアンカレ有るを泉下（あの世）に知らしめば、天の其後継を出すに吝（やいふさか）ならざるを喜ばん。

（明治三十一年（1898）「東洋学芸雑誌」第二百号所載）

- 長岡半太郎著『随筆』（改造社、昭和十一年）所収。
- 読みやすさのために、旧漢字は新漢字に、旧かなは新かなに変更し、適宜振り仮名をつけた。ただし、一部の漢字は旧漢字のままにした。
- 割注は編者が追加した。
- 人名は通行の表記にした。
- PDF化にはL^AT_EX 2_εでタイプセッティングを行い、dvi_{ps}dfxを使用した。

科学の古典文献の電子図書館「科学図書館」

<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/munehiro/sciencelib.html>

「科学図書館」に新しく収録した文献の案内、その他「科学図書館」に関する意見などは、「科学図書館掲示板」

<http://6325.teacup.com/munehiroumeda/bbs>

を御覧いただくか、書き込みください。